

2024年春渡航





初めての海外での滞在、すべてにおいて楽しむことができました！

工学部 電子工学科 2年 鈴木 孝星さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

私は今まで海外に行ったことがなかったのですが、海外へ行きたいという憧れもあり、今回思い切ってマレーシアに行く4週間のプログラムに参加しました。平日は午前2時間、午後2時間程度の授業でスピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの勉強をしました。アラブ系の国から来た留学生や、タイなどの国から来た留学生と一緒に授業を受けいろいろ相談しながら授業が進んでいく形だったので英語でコミュニケーションをする環境が整っていました。平日の夜は自由時間だったため、外食をしたり観光したり、異文化に触れながら楽しむことができました。休日は観光地に回るプランに従って様々な場所に行くことができました。

最初の1週間は初めての経験が多く困惑していた部分もありましたが、徐々に慣れてきて授業や生活自体を楽しめるようになってきました。私はまず友達づくりを頑張りました。廊下であつたら挨拶してみたり、昼ご飯を一緒に食べて話したり授業以外でも英語を話せるような環境を自分で作りました。多少英語で理解できないときや、聞き取れなかったときでもわからないと言えばより簡単な言葉に言い換えてくれたりゆっくり話してくれたりするので、楽しくコミュニケーションをとることができました。異文化の生活を教えてもらったり、逆に日本の文化を教えてあげたり、有意義な時間を過ごすことができ文化も違いから新たな発見をすることもできました。

今回の1か月間は長いようで短かったです。正直留学前は英語を勉強していませんでしたが、マレーシアに行ってみてもっと自分が思ったことを話したい、人のことを言っていることを理解してみたいと思い、これから英語の勉強も専門の勉強と並行して頑張ろうと思います。留学に行く前は留学に対して大きな決断だと感じていましたが、もっと気軽に参加してみてもよかったなと思います。そのため参加するのならば1年、2年のうちの早めに参加してみるといいと思います。





多様な文化や価値観を知ることができ、
とても良い経験となりました

建築学部 建築学科 1年 岩永 悠希子さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先: マレーシア・APU

以前、語学研修に参加した際、自分の意見をしっかり持って議論し合っている姿や、自由で穏やかな空気感に惹かれ、このような日本とは違った空気感の中で英語を学びたいと思い再度参加しました。APUを選んだ理由としては他と比べて参加費が安く、授業のカリキュラムが充実していたからです。

滞在期間中は午前 speaking&listening の授業、午後 reading&writing の授業と自宅学習である OEL が主で、OEL の代わりに discussion の授業が数回あり、効率よく、しっかりと英語を学ぶことができました。また、到着してから 6 段階構成のレベル分けテストを行う為、その時の自分の実力にあった講義が受けられ、とても良かったです。授業では常に会話のキャッチボールが飛び交っており、活気にあふれていました。英語を話すことに自信のない私は授業中、発問をすることが怖かったです。間違いを恐れず、積極的に発言する外国人を見て、怖さを克服することができました。さらに、APU は 2 人に 1 人が国際学生であるほど、他国からの受け入れ数が多いため、皆、外国人に対してフレンドリーですぐ仲良くなることができました。様々な国の文化や風習などの話を実際に体験して現地の人から聞くことができ、本で読むのとは違った見え方があり、視野が広がりました。もっと色々な国について知っていきたいと思いました。

文化や価値観の違う人との交流は知識が増えるだけでなく、自分がこれまで想像したり感じていたことを良い意味で壊し、自身の作り上げてきた世界を広げてくれます。たとえば、授業中に発問することが怖かった私が外国人の姿を見て克服できたように。これからも積極的に様々な人と関わり、視野を広げていきたいです。

マレーシアで語学研修、新たな言語と新たな文化に触れてみよう！

工学部 材料工学科 2年 伊澤 和真さん



参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

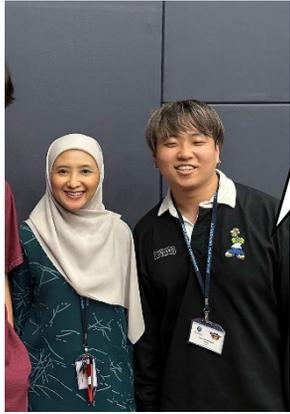
今回のマレーシアでの語学研修の経験は新たな考え、価値観が生まれるとても貴重な経験でした。最初は異文化や新しい環境に対する不安がありましたが、マレーシアに到着してからはその不安はすぐに解消されました。マレーシアの人はとても親切で、私たち留学生に気さくに話しかけてくれたり昼食を一緒に食べてくれたりなど、彼らの温かさや親しみやすさに触れたことで私の緊張もほどけ、新しい国での生活に自信を持つことができました。

語学研修プログラムでは、日々の授業だけでなく、現地の文化や歴史に触れる様々な体験もありました。マレーシアの多様な文化や宗教、言語に触れることで、自分の視野を広げることができました。また、授業や現地での生活を通じて、英語力も向上したと思います。現地の人々との交流や日常生活での英語の使用は、自然な形で私の語学力を向上させる良い機会でした。

留学中は、新しい友人との出会いも貴重でした。様々な国から来た留学生との交流を通じて、世界の多様性や異なる文化について理解を深めることができました。私はマレーシアはもちろん、中国、リビア、エジプト、ミャンマーの友人ができました。今回できた友達は、私の留学生生活をより豊かなものにしてくれたばかりでなく、慣れない現地での生活の大きな支えとなったのでとても感謝しています。

最後に、マレーシアの自然の美しさに触れることも、私の留学体験の一部でした。週末や休日には、美しいビーチやモスクで冒険をすることができ、リフレッシュする良い機会となりました。

留学は決して簡単なことではありませんが、その先には多くの成長や学びが待っています。私のマレーシアでの語学研修の体験は、私が自分自身や世界について多くのことを学び、成長する機会になりました。留学に迷っている方々には、新しい挑戦を受け入れて素晴らしい経験を積むことをお勧めします。その経験はきっと、人生を豊かにすると思います！



英語での授業を聞くことにより、リスニング力が上がりました。また、英語をさらに上達させたいという気持ちが高まりました。

システム理工学部 環境システム学科
2年 望月 温人さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

最初は単純な興味と友達からの誘いを受けてこのプログラムに参加しました。これまで海外などに行ったことはなく、空港では不安な気持ちと楽しみな気持ちがありました。いざマレーシアについて首都のクアラルンプールを歩いてみると、周りの人が外国人の人だらけでここはほんとに日本ではないんだと再認識しました。何日か過ごす不安な気持ちもなくなり、日本とは違う料理や文化、宗教などを楽しめるようになりました。自分の英語力を駆使して友達と観光名所に電車やバスで行ったのも刺激的でとても面白かったです。

学校では授業はすべて英語なので、英語があまりできない僕は少し不安でしたが先生の英語はとも聞き取りやすく、全部聞き取ることは無理でも何を言っているかはだいたい理解できるようになりました。また、授業では日本人の方だけではなく中国やエジプト、スーダンの国籍の人などがいました。僕のクラスでは、グループ活動をするときなどはシャッフルでグループを分けたのでいろんな国の人たちと話すことができました。最初は僕の英語力でしっかりとコミュニケーションがとれるか不安でしたが、簡単な英語でもしっかりと言いたいことは伝わっていたので良かったです。

このプログラムに参加するかなかなか決められない人に向けて僕から言いたいことは、海外に少しでも興味があるなら行くべきだということです。行く前は不安かもしれませんが行ってしまえば絶対に楽しいと感じると思います。僕はマレーシアに行って日本とは違う文化や芸術がとても面白く感じました。他の国にもぜひ行ってみたいと感じるようになりました。また、もっと英語を勉強して海外の方としっかりとコミュニケーションが取れるようになりたいと感じました。マレーシアは英語が聞き取りやすく、日本から結構近い位置にあるので初海外の人におすすめの場所だと思います。



海外の大学に行き、海外の授業、文化に触れることにより、語学の意欲が格段に上がりました！良い経験になりました！

工学部 応用化学科 2年 佐々木 英佑さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

高校生の時から、海外に留学してみたいという意欲があり、大学生になったら留学に絶対行こうと考えていました。将来的には長期留学をしたいと考えていたのですが、最初から長期留学に行くのは私からすると、語学力的にかなりハードルが高いかと感じていました。そのため、短期で海外に一回行ってみたいと考えていた時に見つけたのがこのマレーシアのAPUの語学研修でした。

まず、語学研修のプログラムの中でなんでAPUを選んだかということ、欧米の国より、比較的安く、1ヶ月間いけると思ったからです。最初は公用語が英語の欧米のプログラムより、英語を学ぶ面で劣るかなという不安はありました。しかし実際は、自分の自主性によるところが大きいと感じました。実際大学内は生徒も先生も英語で話しているの、積極的に話せば英語を必然的にたくさん使う機会がたくさんあると思います。実際に私も日本に帰っても連絡を取るような海外の友達も作ることができました。その点は、オープン型のプログラムで外国人や他大学の留学生がクラスにいたという点が大きかったと思います。授業は、英語の四技能すべての授業があり、プレゼンをしたりもするため、大変ではありますがとても有意義だったと思います。発言をする機会も多いため、積極的に授業に参加すればするほど、身になると感じました。また、語学力別にクラスが分けられるため、置いてかれる心配はないです。土日のアクティビティは、仲良くなった友達と遊べて楽しいです。

まとめると、この語学研修は語学の学習に限らず、海外に実際に行き、視野を広げるのに良いと感じました。英語力が数値的に上がったかはわかりませんが、自分の英語力の弱点も知れたし、語学を学ぶモチベーションも上がりました。また、英語を話すのに抵抗もなくなりました。格段に語学に対しての経験値は上がったと思います。まだ書き足りないこともありますが、少しでも留学や海外に興味のある人は、行ってみたいと思います。絶対有意義な時間を過ごせると思います。



環境の違う海外の経験を積むことができました！
現地の友達との交流で、英語学習や他国文化への
興味がより深まりました。

システム理工学部 環境システム学科
2年 杉谷 颯 さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

高校の時から英語に苦手意識があり、大学でもTOIECなどの勉強になかなか手つきませんでした。そんな自分の現状を少しでも変えられないかと思い、今回の語学研修に参加しました。このプログラムを選んだ理由としては、海外に行くことがが初めてだったのと、安く長く滞在したいということもありマレーシアのAPUへ行くことにしました。一人で海外旅行をするのは不安があったので、大学の案内に沿って初の海外経験をするのは選択としてはよかったと思っています。現地での授業も不安でしたが、到着直後のテストでクラスが分けられ、丁度よい内容を勉強することができました。最後は一緒に遊びに行ったりご飯を食べたりと、良いクラスメイトに恵まれました。

向こうでの生活の感想と、予め知っておきたいことを書いておきます。宿泊先のイビスというKLCCにあるホテルは設備も新しく、居心地よく1ヶ月間過ごすことができました。ほかの大学の方たちとも同じで、仲良くなった人とも出かけやすいです。目の前にコンビニがあり、近くにモールもあるので買い物には困りませんでした。洗濯に関しては、洗濯ネット、洗濯ロープ、小物干し、ハンガー、クリップなどがあると便利だと思います。長期滞在なので必要なものが分からない人もいますが、マレーシアにもダイソーやドンキホーテなどがあるので現地で足りないものを買ってそろえることも一応できます。注意することとしては、大学内にて襟付きのシャツや長ズボンなどのドレスコードには気を付けてください。食べ物が合わなくて腹痛になったり、暑さや風邪で体調を崩すこともあるので、薬はある程度準備しておきましょう。自分は正露丸と葛根湯に助けられました。

日本の良さをより知れることも含めて、とても楽しい語学研修でした。少しでも興味があればぜひ行ってみたいですし、貴重な経験になると思います！



最高の異文化交流！ 英語学習もアクティビティも盛りだくさんでした



工学部 土木学科 2年 葛西 光葉さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：マレーシア・APU

私は過去にタイでの2週間の語学研修に参加した経験があり、その際に異なる文化の人々と交流する楽しさに触れたことが、今回の語学研修に応募するきっかけとなりました。短期プログラムではまだ十分に現地の魅力を味わえなかったため、もっと長期で留学してさらに多くのことを経験したいという思いが強くなりました。

プログラム中の授業は、英語の4技能をバランスよく学べる参加型・対話形式のものでした。リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの能力を月～金まで毎日5時間ほどの授業を通して鍛えることができました。特に英語でプレゼンテーションを行う機会が多くありました。最初は緊張しましたが、先生方の丁寧なアドバイスとサポートのおかげで徐々に自信をつけることができました。また、他の国からの留学生たちのハングリー精神に驚かされました。異文化や新しい知識に積極的に取り組み、お互いに切磋琢磨する姿勢に良い刺激を受けました。

現地の学生たちと昼食を一緒にとったり、休み時間に雑談したり、放課後はショッピングモールへでかけたりと、たくさん交流する機会がありました。また、朝昼食べる学食が美味しく、滞在していたホテルも清掃が行き届いていて過ごしやすい環境でした。土日のアクティビティでは有名なピンクモスクやバトゥ洞窟、ウォーターパークなど様々な場所を訪れました。アクティビティのないフリーの日には自分たちでバスを予約し、世界遺産の街であるマラッカを観光しました。

このプログラムに参加したことで、自分で考えて行動する力、新しい環境に対する適応力がついたと思います。また、留学中にできたかけがえのない友人をこれからも大切にしていきたいです。

迷っているならぜひ留学プログラムに参加することをお勧めします。新しい環境や文化に触れることで、自分の可能性が広がるかもしれません。初めは不安や緊張もあるかもしれませんが、意外となんとかなるものです。積極的にチャレンジしてみてください！



現地の方と積極的にコミュニケーションをとって、
英語力が身についた！
語学研修を通して英語への恐怖心がなくなった！

工学部 機械工学科 2年 清水 勇太郎さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・APU

海外に行ったことがなく、一度は海外に行きたいと思っていたため、語学研修の参加を決断しました。また、もともと英語が苦手だったため、英語に対する恐怖心をなくしたいと思い、比較的成本がかからなくて、1ヶ月しっかり英語を学ぶことができるこのプログラムに参加しました。

学校の授業は、全体的に参加型で、文法など気にせずに話している場面が多かった印象です。午前中はリーディングライティング2時間、午後はリスニングスピーキングを2時間というカリキュラムでした。先生がとてもやさしくて、休憩が間にあるため、とても受けやすかったです。授業が終わったら、自由時間なので、いろいろな場所に行ってご飯を食べたり、遊んだりしました。現地のご飯は辛いものも多く、何を頼んでもスパイシーですが、味はとてもおいしいです。日本食が恋しくなるかもしれませんが、せっかくの機会なので、たくさんマレーシアの料理を食べてほしいです。ただ、水や氷には注意した方がいいです。私は、おそらくレストランでの水や氷の影響で、体調を崩してしまい、最後の週の3日間はホテル療養をしていました。現地の病院に行きましたが、先生がしっかり診てくれて、薬もくれたので、治すことができました。お金は保険がきいているので、かかりませんでした。海外の食べ物、氷には油断してはいけなかったと思います。土日にはツアーが用意されていて、マレーシアの観光名所をいろいろ見て回るできるので、ぜひ参加してほしいです。気温は暖かめで、とても過ごしやすかったです。

私がマレーシアで一番印象に残っているのは、物価の安さです。マレーシアは、日本より安く物を買うことができます。特にタクシーが安く、移動するときは、ほとんどタクシーでした。

このプログラムは、1ヶ月という、比較的長い間海外で生活するため、たくさんの方とコミュニケーションがとれて、語学力が向上したと感じています。この経験を生かして、これから、たくさんの国に行ってみたいと思いました。